

答え合わせ・解説

問1	答え 3 南部鉄器	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。その実用性と芸術性の高さから、全国的に高く評価されています。
問2	答え 1 季節風	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。この風が東北地方の奥羽山脈にぶつかることで、日本海側には大雪が降り、山脈の東側である太平洋側には乾燥した風が吹き抜けます。これにより、東西で雪の降り方や気温に大きな違いが生じます。
問3	答え 1 果樹栽培	この地形上の特徴を活かし、寒暖差が必要な果物の生産が非常に盛んです。特に、さくらんぼの生産量は全国でもトップクラスを誇り、西洋なしなど品質の高い果物が全国に出荷されています。
問4	答え 3 秋田平野	秋田平野は、日本でも有数の面積を誇る平野です。広々とした土地と豊富な水資源に恵まれているため、古くから稲作が非常に盛んで、秋田県を代表する農業地帯となっています。
問5	答え 4 リアス海岸	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。この環境を活かして、カキやホタテなどの養殖業が非常に活発です。
問6	答え 1 奥羽山脈	「奥羽山脈」は、東北地方の中央を南北に走る山脈で、その長さから「東北の背骨」と呼ばれます。高い山々が壁となって日本海側の湿った空気や太平洋側の空気を遮るため、東西で異なる天候や気温をもたらします。
問7	答え 1 潮目	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。異なる海流が混ざり合うことで海水の上下運動が起こり、魚の餌となる栄養分が供給されるため、プランクトンが大量に発生します。これを求めて多くの魚が集まるため、世界的に見ても非常に豊かな好漁場となっています。
問8	答え 1 津波	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。陸地に近づくにつれて波の高さが急激に増し、強大なエネルギーで海岸沿いの集落や施設を飲み込みます。特に三陸海岸のように複雑な入り江を持つ地形では、津波の高さが増幅されやすい性質があります。
問9	答え 2 奥羽山脈	奥羽山脈は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。この山脈が高い壁の役割を果たすため、西側と東側で天候や積雪量に大きな違いが生まれます。
問10	答え 2 津軽海峡	津軽海峡は日本海と太平洋を結ぶ海域です。青森県側では冬の季節風の影響を強く受け、豪雪地帯となる特徴があります。
問11	答え 3 冷害	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。これにより、収穫量が減るなどの農業上の大きな問題が生じます。
問12	答え 1 盆地	周囲を高い山に囲まれた平坦な地形を「盆地」と呼びます。東北地方の盆地は、海からの湿った風が遮られるため、夏は気温が非常に上がりやすく、冬は放射冷却によって冷え込みが厳しくなります。この大きな気温差を活かして、果樹栽培などが盛んに行われています。
問13	答え 4 ササニシキ	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。あっさりとした食感と適度な粘りが特徴で、寿司店などで好まれて使われていました。
問14	答え 1 仙台市	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。多くの支社や官公庁が集まっており、東北全体のサービスや産業の中心地としての役割を果たしています。
問15	答え 3 浜通り	県東部の太平洋側に広がる平地を「浜通り」と呼びます。中央の阿武隈高地によって内陸部とは区切られており、温暖な海洋性気候に属しています。
問16	答え 4 東北地方	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。四季の変化がはっきりしており、特に冬は寒さが厳しい一方で、豊かな自然や伝統行事が数多く残されています。ねぶた祭のような大規模な祭りは、各県が協力し合ってこの地域の魅力を高める重要な資源となっています。